



2025. 1. 1

1月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

新年あけましておめでとうございます。年始はカレンダーの影響もあって4日の土曜日が2号児保育の開始日でしたが、保育希望者がおらず6日が保育開始日となり、幼稚園は長いお休みをいただきました。年末年始といってもお休みの方ばかりではなく、お仕事をされていた方もおられたかもしれません。

帰省や旅行などでたくさんの人が、色々なところにお出かけされたと思いますが、それができたのもバスや電車や飛行機など乗り物を運転してくれる人がいてのことですし、スーパーをはじめ、たくさんのお店で年末年始に買い物ができるのもお店で働いてくれている人がいるからこそです。普段と違った時間を過ごすことで、なんかウキウキワクワクすることも多い中、そのような思いにさせてくれるのも、周りの人たちのおかげであるということをお忘れないうちにしたいと思います。

改めて自分1人では生きていくことはできず、たくさんの人との関わりや支えがなければ、皆が平和に毎日生きることにはできません。2025年も子どもたちは幼稚園生活を通じて、たくさんの人と関わっていくでしょう。それら1つ1つの関わりは、すべて大切なことであると信じ、前を向いて歩いていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

話は戻りますが、2学期の終業式に子どもたちにお話しした1つに、12月25日は神様の子、「イエス様のお誕生日!」。ぜひご家族のみなで「お誕生日おめでとう!!」をして欲しいと伝えました。毎週の礼拝を通じて、またクリスマス礼拝・祝会を通じて、神様のこと、イエス様のこと、イエス様がお生まれになったお話に興味や関心を示してきた子どもたちでした。また、幼稚園だけでなく、各教会でもクリスマス主日礼拝やイブ礼拝が行われましたが、実際に教会に足を運んでくださったご家族がおられたとも報告を聞きました。とても嬉しい報告でした。

クリスマスはプレゼントがもらえる日として周知されていますが、神様が大切な子を世の光、希望の光として、この世に授けた日です。クリスマスの出来事と共に1月に与えられた聖句のように「受けるよりも与える方が幸いである。」このことを大切にしながら、3学期の保育を始めていきます。

【年主題】

「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」

(ヨハネによる福音書14章6節)

1月主題 「なかまと ひびきあって」

聖句 「受けるよりも与える方が幸いである。」 (使徒言行録20章35節)